

(56) エリツィン大統領発橋本総理宛親書

(1998年7月10日)

ロシアの首相として初めて来日されたキリエンコ首相が、橋本総理との会談の際、エリツィン大統領発橋本総理宛親書を手交したところ、その骨子は次の通り。

- ・ キリエンコ首相の訪日に際し、親書をお届けする。
- ・ キリエンコ首相及びその内閣は、短期間の中にロシア経済の安定化のために大きな課題を解決しなければならないが、自分は同首相に全幅の信頼を置き、また、広範な権限を付与している。
- ・ 両国関係史上初のロシア首相の訪日が成功し、貴総理との会談が実りあるものとなることを期待している。
- ・ 川奈で達成された我々の合意は、一貫してダイナミックに実現されている。このことは、両国間の政治問題に関する対話、経済協力、国際問題での協調に、肯定的に反映されている。
- ・ 日本は、国際舞台におけるロシアの最も重要なパートナーの一つであることを強調したい。